

DX人材育成テーマに交流会

データ分析成果 熱弁

群大 高校、大学生が意見交換

デジタルトランスフォーメーション（DX）やデータサイエンスに関する人材育成をテーマにした交流会が20日、前橋市の群馬大荒牧キャンパスで開かれた。高校生や大学生がプログラミングやデータ分析を駆使した研究の成果を発表し、意見を交わした。



研究の成果を発表する生徒ら

交流会には県内外の高校生から大人まで139人が参加。同大の学生や、ぐんまプログラミングアワードに出場した高校生らがポスター発表を行い、自分の研究について熱弁を振るった。

色と心拍数の関係についての研究を発表した藤岡中央高2年田口琉惺さん（17）「多くの人と交流することで、今まで考えなかった視点を得ることができた」と充した表情を見せた。交流会は同大数理工学教育研究センターが初めて主催。育系コーチユバールヨビノリたくみさん基調講演などもあった。

（高木大喜